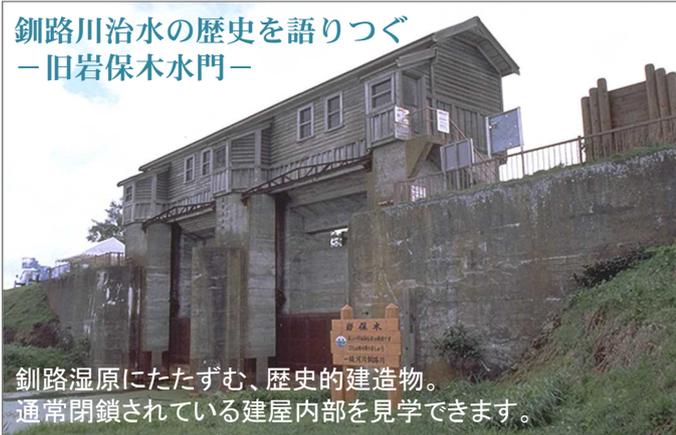


○旧岩保木水門（釧路町）

釧路川治水の歴史を語りつぐ
—旧岩保木水門—



釧路湿原にたたずむ、歴史的建造物。
通常閉鎖されている建屋内部を見学できます。

（施設概要）

大正9年8月に発生した洪水を契機に、釧路川新水路掘削が開始され、膨大な時間と労力を要した末に、昭和5年新水路が通水。続く昭和6年に、釧路川分流地点の岩保木に水門が完成しました。

平常時は釧路川に水を流し、木材流送や舟運の便を図り、洪水時や結氷期は水門を閉じ、釧路市街地への洪水や土砂、氷塊の流入を防ぐ役割を担っていました。

令和6年度土木学会選奨土木遺産に認定されました

（見学箇所）

- ・建物外観（看板設置箇所など）
建屋内部、新岩保木水門や釧路川、釧路湿原など、周辺の景観



（見学時間）

- ・20～40分程度

（見学可能人数）

- ・20名程度（2班に分けて10名程度ずつ）

（施設までのアクセス）

- ・JR釧路駅より車で30分



建屋の中の様子。水門を開閉する機械が当時のままに残されています。

○旧岩保木水門（釧路町）

【駐車場・その他施設】

- ・駐車場：あり
※大型バスは管理用道路の通行ができないため、最寄り駐車場を利用（右下地図）
- ・トイレ：なし

【オススメポイント(周辺の観光スポットなど)】

- ・【細岡展望台】
釧路湿原の東に位置し、湿原の広大な眺望を楽しめる人気の展望台。釧路川が湿原を蛇行する風景は、四季折々に違った表情を見せてくれます。隣接するビジターズ・ラウンジに立ち寄り、暖炉のある喫茶スペースでひと休みも😊。

【注意事項】

- ・建屋の入口扉、ゲートは施錠しており、許可なく立ち入ることができません。
- ・木造建屋のため、一度に入室する人数を制限します。
- ・旧水門内部は建設当時の状態で保存しています。内部は照明施設がなく、階段や通路など足下が不安定な狭小箇所での見学となります。

【位置図】



出典：地理院地図



出典：地理院地図